

< 談 話 室 >

2025大阪・関西万博

藤 村 健 夫

1970大阪万博の記憶は大混雑です。太陽の塔は外観を見るだけ。なんでこんな不思議な顔をしているのだろう、って思いました。アポロ号が持ち帰った月の石が展示されているアメリカ館も、行列が長すぎて並べず。フランス館でシャネルの香水をハンカチにつけてもらったこと、ビルマ館（現ミャンマー）の形状が双頭の竜で、エキゾチックだったことなどを憶えています。

太陽の塔①は内部をリノベーションして一般公開（要予約）されましたので、2018年見学してきました。そんな万博ファンとして、2025大阪・関西万博を楽しみにしていました。



①

腎内科二人体制で、休みの調整が必要なのですが、当院での初期研修2年を修了した酒巻周周先生が、米国留学に出発するまでの約14週間、腎内科の一員として頑張ってくれることになり奇跡の三人体制が実現、今しかない、4月25日夕～4月28日まで大阪に行ってきました。酒巻先生ありがとう！！

開幕前の気運が上がっていない時期に予約を入れたので、ホテルも、前売り割引チケットも、午前中入場予約も、イギリス、イタリア、アラブ首長国連邦のパビリオン入場予約も確保できました。

ドイツ好き（ヒトラーを除く）なので、第一日、入場と同時に真っ先にドイツパビリオンに向かいました。フランス料理よりはるかに美味しいと確信している、ソーセージ、じゃがいも、ドイツビール②を堪能しました。これで第一目標クリア。イギリスパビリオンはビートルズ音楽で迎えてくれて、Johnnie Walker Bar③を楽しみました。PASONA NATUREVERSEパビリオンは、20:00過ぎに行きましたので、行列なしでiPS細胞心筋シート④をゆっくり見学できました。



②



③



④

第二日、まずは、前回見られなかったアメリカパビリオンに向かいました。たった30分の行列で月の石⑤を見ることができました。イタリアパビリオンは、ちょうどローマ教皇が亡くなられた時点で、弔意を表す観覧者（私も）でいっぱいでした。思いがけずレオナルド・ダ・ヴィンチの自筆スケッチ⑥を見学することができました。

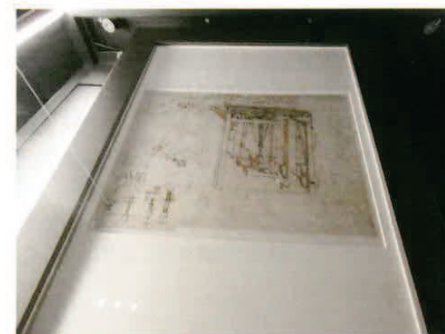


⑤

第三日、地味ですが、ヨルダンパビリオンの砂漠⑦が穴場的によかったです。「スターウォーズ」の撮影現場の砂漠の砂22tを運び、日本の規制に従って洗って天日干しして微生物を除去してあり、裸足で歩くとそのサラサラ感が、鯨波海岸の砂浜とは全く異質の感触でした。

18:00を過ぎると人が少なくなるので合計30か国以上見学することができました。ミャンマー（旧ビルマ）パビリオンはありませんでした。政情不安定で万博どころではないですね。世界は複雑で、きれいごとだけではすまないことは承知していますが、それでも、各国が他国の歴史・文化を尊重して、戦争のない世界を実現することを願っています。

（追記）1970は〇〇館でしたが、2025は〇〇パビリオンと呼称されていました。



⑥



⑦